生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	偶発的に指摘された乳腺・甲状腺の重要画像所見の意義についての検討		
1. 研究の目的と方法	昨今、画像診断報告書の重要所見の見落としにより悪性腫瘍の治療開始が遅延した症例の報道が全国的に相次ぎ、その対策が急務となっています。本学附属病院では従来の放射線科医が作成した報告書の既読確認作業の徹底に加え、重要所見への対応の有無について専任の事務員が診療記録を調査し、患者様にも報告書を交付するなど、確認作業を段階的に強化してきております。画像診断報告書で乳腺・甲状腺に重要所見が指摘された症例の精査が、乳癌や甲状腺癌の拾い上げにどの程度寄与しているかを検討し、その意義を明らかにすることで、遅滞なく乳癌、甲状腺癌の治療開始に結び付ける動機付けとし、医療安全文化の醸成に寄与することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031 年 9 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018 年 1 月から 2026 年 9 月までに東京慈恵会医科大学附属病院において、乳腺・甲状腺以外のご病気の精査、評価目的で画像検査を行い、画像診断報告書において乳腺・甲状腺に重要所見を指摘され、他科から当科へ診療依頼（コンサルテーション）のあった患者様 未成年者は研究対象から除外いたします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、病理所見、治療内容（手術、薬物療法、放射線療法）など	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　外科学講座　乳腺・内分泌外科
		氏名	風間　高志
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2020 年 7 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　外科学講座 研究責任者：助教　風間　高志（かざま　たかし） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 09：00　～　17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。